

独自のデータ活用で誰もが過ごしやすいまちづくりへ貢献

地域がより住みやすく活気あふれる場へと発展するには、分布や行動など多角的な人口データの収集・分析が重要とされています。携帯電話ネットワークや利用状況などから得られるデータはまちづくりにおける課題解決に役立てられています。

SOLUTION

1. ビッグデータからニーズに合った情報を提供
2. レジリエントなまちづくりをサポート
3. 訪問客ごとの好みや目的に合った情報提供による地域振興

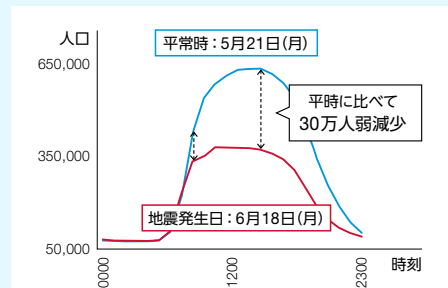
SOLUTION 1,2 人口統計データが住みよいまちづくりに貢献

モバイル空間統計

モバイル空間統計ではドコモの携帯電話ネットワークを使用して、日本全国24時間365日1時間ごとの人口を把握できます。「性別」「年代」「居住エリア」「国・地域」などの切り口から分析可能で、官民間問わず多岐にわたる分野で活用されています。たとえば自然災害発生時の被害最小化や早期復旧といった防災計画の策定にあたり、これまでは人の行動予測の難しさがありました。データを使い人口動態を把握することで実際の人の動きをもとにした災害時の帰宅困難者の推計や備蓄品配備の最適化など、より高精度な被害予測と対応立案を可能にしています。

災害時のモバイル空間統計のデータ例

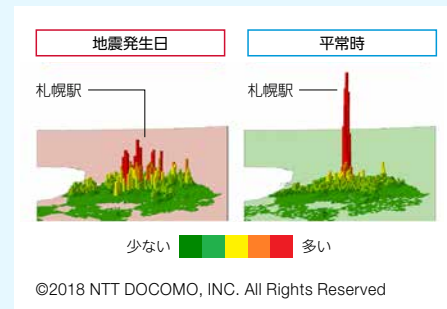
〈大坂北部地震：発災時と平常時の人口比較〉



©2018 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved

発災時と通常時の人口比較により発災の影響を受けた人などの程度いるのか把握できます

〈北海道胆振東部地震：災害時と平常時の人口分布〉



平常時と発災時の人口分布を比較し、災害時に人が滞留しやすいエリアを特定、物資の備蓄計画や災害に強い交通網の検討に活用できます

SOLUTION 1,3 地域の魅力を訪問客ごとにパーソナライズして提供

FUN COMPASS

新型コロナウイルス感染症拡大を経て、個人旅行への転換やマイクロツーリズムをはじめとした新しい旅行スタイルの拡大など、地域の魅力向上をめざす自治体や民間事業者は新たな課題に直面しています。モバイル観光ナビ「FUN COMPASS」は、ユーザーの嗜好や属性だけでなく、時間や場所、天気などの状況に合わせて観光情報を提供することで、訪問客が集中しがちな定番スポットだけでなく穴場スポットまで、地域の魅力を余すことなく提案します。訪問するたびに新たな地域の魅力を発見することで、滞在時間の延長や消費の増加を促し、地域全体の活性化に貢献していきます。

FUN COMPASSの活用事例(沖縄：おきなわCompass)

